

〈ネキリムシ〉

草取りをしていたら倒れてしなびかけたニンジンの苗が数本見つかった。ここまで育ったのに、根元からスパッと切られてあとは枯れるのを待つだけ。犯人は分かっている。切られた苗の根元を少し掘ってみるとヤツが出てくる。“ネキリムシ（根切虫）”だ。昼間は土の



中にもぐっているが、夜になると地表に出てきて地際の茎を食いちぎってしまう。キャベツの苗もササゲの苗もかなりの被害にあった。鳥や虫からの被害はネットをかけたり忌避素材を設置したりすれば何とか防げるが、土の下にいるネキリムシはどこに潜んでいるか分からないので手の施しようがない。農薬で比較的簡単に防除できるのだが、ここはグッと耐えるしかない。何か対策はないかと調べてみたら、「ネキリムシは何でも食べるので、苗が大きくなるまで周りの草をむしらないでおくといい」とあった。コロナで行くところがなく毎日畑通いをしていたので例年よりこまめに草をむしっていたが、皮肉なことにそれが一因だったのかもしれない。ネキリムシはニンジンでなくても食べる草があればそれでいいのだ。本来生えているはずの草をきれいにむしってしまったため、食べるものがなくなったネキリムシはニンジンの苗を食べただけ。う～ん、自然界のバランスを保ちながらの野菜作りは奥が深い！

